

令和2年度 第6回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和3年1月23日(土) 13:00開始
2. 場 所 Zoomによるテレビ会議
3. 出席者 理事23名中、理事19名 監事1名
(理事19名全員、監事1名は全員ZOOMで参加)

(理事) 中曾根 弘文、内藤 貴詞、中村 康夫、寺本 祐治、
安西 浩哉、瀧上 正志、平尾 豊、伊吹 洋二、宮野 正喜、井上 雄介、
千野 雅人、中村 真理、今庄 充世、矢野 茂樹、大久保 文義、馬場 治
男、渡辺健一、石川 伸男、奥田 竜子
(監事) 田中 誠

4. 開会宣言
定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

5. 開会のご挨拶(中曾根会長)

6. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が理事23名の内19名出席しているので本理事会は定款第39条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

(2) 定款第38条に基づき中曾根会長が議長に選出された。

(3) 議長が議事録署名人に井上理事と奥田理事を、議事録作成人に梅本事務局次長を指名した。

(4) Zoom会議により出席者の音声即時に伝わり、一堂に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認された。その後、議案の審議に入った。

7. 審議事項

① 令和3年度国内大会について

議長が平尾常務理事に説明を求め、画面上の資料に基づき、現時点での来年度の日程(予定)について説明が行われた。

質疑応答の際、石川理事より2022年度マスターズホッケーjapan cupについては、変更可能性がある旨、補足があった。議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

② インドアホッケー規則について

議長が平尾常務理事に説明を求め、画面上の議案提案書に基づき、説明が行われた。2021年度発行予定である競技規則書はFIHの発行見合わせに伴い、JHAの発行も見合わせることにし、インドアホッケーの規則は2019年度版に掲載し、JHAのホームページに掲載する旨の説明があった。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

③ コロナ感染拡大防止対策について

議長が平尾常務理事に説明を求め、画面上の議案提案書に基づき、説明が行われた。2021年度JHA主催国内大会、ブロック予選会実施におけるコロナ感染拡大防止対策指針について口頭により説明があった後、大会開催自体を決定するための指針や陽性者が確認された場合の対応マニュアルについては、総務委員会で改めて示して欲しいとの提案があった。質疑応答の後、議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

④ 日本代表チームの活動と強化体制について

議長が安西常務理事に説明を求め、口頭により以下2点について、説明が行われた。

I. さくらジャパン、チャビ・アルナウ新ヘッドコーチ就任に伴う強化体制について

新ヘッドコーチ就任に合わせ、残されたオリンピックまでの期間の更なる体制強化のため、一般社団法人ホッケー・ジャパンリーグチェアマンである真喜代司氏(元日本ホッケー協会常務理事)に、女子日本代表さくらジャパン強化のサポートをお願いする。組織内の位置づけとしては、強化本部の権限・責任体制の変更はなく、東京2020メダル獲得へ向けて、ヘッドコーチ・チームスタッフ・強化本部及び協会執行部とのコミュニケーションを一層強化するものとする。

II. 東京五輪に向けての現時点のサムライジャパン・さくらジャパンの強化スケジュール

質疑応答の後、活発な意見交換が行われ、議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

⑤ マスターズホッケーワールドカップ 2022 開催の立候補について
議長が石川理事に説明を求め、画面上の資料に基づき、説明が行われた。2020 年 11 月の日本開催が延期となって以降、2022 年 10 月開催予定となった経緯が説明され、JHA マスターズ部会より同大会への再立候補について、提案がなされた。

質疑応答の後、議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

⑥ 広報委員会の委員の追加について

議長が宮野理事に説明を求め、画面上の議案提案書に基づき、説明が行われた。新たに広報委員 1 名、マーケティング委員 1 名の計 2 名を各委員会メンバーとして追加する提案がなされた。

質疑応答の後、議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

⑦ 坂本事務局長の雇用について

議長が瀧上常務理事に説明を求め、画面上の雇用契約書(案)に基づき、説明が行われた。

議長が承認を求めたところ、賛成多数で承認された。

8. 報告事項

① 令和 2 年度中間決算について

議長が井上理事に報告を求め、画面上の収支報告資料に基づき、説明が行われた（2020 年 12 月 5 日：内部監査済）。

坂本事務局長からスポンサー契約状況について補足があった。

② 東京 2020 オリンピックの準備状況について

議長が安西常務理事に報告を求め、口頭により現時点での大井ホッケー競技場の仮設工事スケジュール及びオリンピック終了後の撤去工事スケジュール等について報告が行われた。

③ Japan Hockey Road to 2030 の進捗状況

議長が渡辺理事に報告を求め、画面上の報告資料に基づき、以下4点を中心に報告が行われ、坂本事務局長より補足があった。

- I. 第一回エリアリーダー会議(2021年1月9日 WEB 会議実施済)
 - II. ロゴマーク及び広報宣伝素材の製作について
 - III. 品川区主催「しながわホッケーまちづくりプロジェクト」による社会共創ワークショップへの協力・参加
- なお、Iについては、議事録の作成提出を行う。

④ 大井レガシープロジェクトの進捗状況

議長が瀧上常務理事に説明を求め、画面上の資料に基づき、R2年度大井ホッケー競技場利用状況とR3年度以降の利用見込み、東京都との会議内容、レガシープロジェクト会議での活発な議論内容と喫緊の課題等について、報告が行われた。

⑤ FIH ジュニア WC2023 開催の検討状況について

議長が渡辺理事に説明を求め、画面上の「招致に関わる予備調査結果」資料に基づき、大会概要(招致条件)、想定収支、承知プロセスタイムライン、今後のアクション、スポーツ振興事業助成の項目を中心とした報告が行われた。想定収支については、財務委員長と協議して作成を進める。立候補ファイル提出〆切まで時間的にタイトであるが、次回理事会での審議に向けて動きを加速していく方向で一致した。

⑥ その他

- ・2020年12月開催のU15 オールスター戦(大井ホッケー競技場)について、コロナ禍において無事開催された旨、馬場理事より報告が行われた。
- ・2020年12月開催の高校選抜大会(川崎重工ホッケースタジアム)について、コロナ禍において無事開催された旨、渡辺理事より報告が行われた。
- ・令和3年度外務省スポーツ外交推進事業説明会(WEB)についての参加及び内容概要について、伊吹常務理事から報告が行われた。

以上をもってすべての議事の審議を終了し、議長は15時32分、閉会を宣言した。